



第37回 北海道特別支援教育研究協議会

道南地区研究大会兼全道研修会・平取大会

開催要項 (二次案内)



地域社会で自分らしく生きる児童生徒を育てるために

～未来につながる魅力ある教育の実践～



- 主 催 全日本特別支援教育研究連盟 北海道特別支援教育研究協議会
- 後 援 北海道教育委員会 平取町 平取町教育委員会 平取町社会福祉協議会
北海道特別支援学校長会 北海道特別支援学校知的障害教育校長会
北海道特別支援学校副校長・教頭会 北海道特別支援学級設置学校長協会
北海道特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会
北海道特別支援学級教育研究連盟 北海道情緒障害教育研究会
北海道手をつなぐ育成会 北海道自閉症協会
公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部 北海道平取養護学校

期日：平成 27 年 7 月 31 日（金）

会場：北海道平取養護学校

大会開催要項

○ 大会研究主題

地域社会で自分らしく生きる児童生徒を育てるために

～未来につながる魅力ある教育の実践～

○ 研究主題設定の理由

我が国は平成 26 年 1 月 20 日「障害者の権利に関する条約」に批准し、同年 2 月 19 日に発効されました。この条約の目的は、「障害者の人権・基本的自由の共有の確保、障害者の固有の尊厳の尊重の促進」です。第 24 条では、教育についても触れられ、「障害者を包容するあらゆる段階の教育制度及び生涯学習を確保すること」や「個人に必要とされる合理的配慮が提供されること」などと対応が示されています。

この批准に向けて国内では、平成 23 年 8 月に障害者基本法が改定され、平成 24 年 7 月に、文部科学省初等中等教育分科会報告「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」（以下、中教審報告）が示されました。また、平成 25 年 6 月障害者差別解消法が成立（一部を除き平成 28 年 4 月 1 日から施行）し、学校教育法施行令が改正（9 月 1 日より実施）されました。

中教審報告の内容には、「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築」、「早期からの教育相談・支援、就学先決定までの一貫した支援」、「障害のある子どもが十分に教育を受けられるための合理的配慮及び基礎的環境整備」、「多様な学びの場の整備と学校間連携の推進」、「特別支援学校を充実させるための教職員の専門性向上」などが示され、特別支援学校の教職員として研修の実践を通じた授業力の向上が期待されています。

さらに、平成 25 年 3 月に北海道教育委員会が定めた、特別支援教育に関する基本方針（改訂版）では、一貫した支援を目指した特別支援教育の推進に向け「地域における特別支援教育の支援体制の充実」についても示されています。

私たちは、障がいのある子どもたちが、学校卒業後に主体的で豊かな地域生活ができるよう、生きる力を育成することが大切です。児童生徒が様々な集団や社会的な関係の中で自分らしさを発揮し、自分らしい生き方を積み上げていくこと、地域社会において主体的に生きていくこと、自己の役割を果たしていくこと、さらに成人期以降のライフステージにおいて自立した社会生活を送ることなどのために、適切な指導や必要な支援を保障することが求められます。

そこで、第 17 次研究では研究期間を 2 力年とし、「地域社会で自分らしく生きる児童生徒を育てるために～未来につながる魅力ある教育の実践～」を研究主題として、各地区の活動や研究紀要の発行、調査研究及び研究大会を通し、本道の知的障害教育の充実、発展に寄与していきます。

○ 期 日

平成 27 年 7 月 31 日（金）

○ 会 場

北海道平取養護学校（〒055-0107 沙流郡平取町本町 112-7 番地／Tel 01457-2-3178）

○ 参加者

北海道特別支援教育研究協議会会員及び教育関係者
福祉施設職員 特別支援教育に関心のある方

○ 日 程

9:00 9:30 10:00 12:00 13:30 15:30 15:40 16:00

受付	開 会 式	〈部会〉 * 研究交流 * グループ協議 * 実践ワークショップ	昼 食	〈全体講演〉 岩手大学教育学部教授 名古屋 恒彦 氏	休 憩	分 散 総 会	閉 会 式	理 事 連 絡 会
----	-------------	---	--------	----------------------------------	--------	------------------	-------------	-----------------------

※ 9:30～9:55 部会運営会議

○ 開会式挨拶

全日本特別支援教育研究連盟理事長 松 矢 勝 宏 氏

○ 全体講演

「やりがいと手応えのある本物の生活を送るために」
～各教科等を合わせた指導からの視点で考える～

岩手大学教育学部教授 名古屋 恒彦 氏

○ 部会の構成

部会名	内容（予定）	講師（助言者）
研究実践 (部会)	—研究実践交流— 北海道教育大学附属特別支援学校（他者とのかかわり合いの中で自己が育つ授業づくり）並びに平取養護学校（児童生徒が主体的に社会と関わる力を育む授業づくり）の研究実践発表を行う。 2校の研究実践に基づいた討議の柱を立て、小グループに分かれて討議するとともに、参加者各校の実践について情報交換する。	北海道室蘭養護学校教頭 松岡 達也 氏
進路支援 (部会)	—相談支援事業との連携の在り方— 講師より相談支援事業の概要、現状などを説明いただき、小グループに分かれて学校と地域の連携における課題やその解決法について討議の柱に沿って討議を進めるとともに、参加者各校の状況について情報交換する。	障がい者総合相談支援センター るびなす 地域づくりコーディネーター 岩森 信之 氏
寄宿舍 (部会)	—寄宿舍の抱える生徒指導の課題交流— 平取養護学校の寄宿舍の現状と課題についての発表後、内容に基づいた討議の柱を立て、小グループに分かれて生徒指導上の課題について討議するとともに、参加者各校の状況について情報交換する。	平取養護学校静内ペテカリの園分校教頭 久富 正規 氏
IT 実践 (講座)	—ipad の操作と学習支援の方法— 講師より基礎的な知識や ipad の操作法、アプリの紹介、学習支援の実践例について説明いただき、実際の操作を体験する。また、参加者各校の状況について情報交換する。 ※ipad 本体は、講座で準備したものを使用します。	特定非営利法人 NPO 団体 NEXTDAY 小林 義安 氏 堀 美根 氏
自立活動 (講座)	—動作法の概要と実践— 知的障害での自立活動充実の視点から、動作法についての概要を知り、知的障害における体の動かし方の基本の実践について学ぶ。 参加者をモデルにした動作法の実践やペアリングでの実践をとおして、参加者同士の交流も図る。	平取養護学校教諭 動作法スーパーバイザー 柴田 和佳 氏

- 大会参加費
 - ・北特研会員並びに準会員：**無料**
 - ・一般参加者：**1,000 円（当日受付にてお支払いください）**

- 研究紀要について
 - ・研究紀要は平成 28 年 3 月発行予定です。非会員で研究紀要を希望される方は、参加申込書に記入のうえ当日受付にて **2,000 円**をお支払いください。

- 宿泊先ならびに昼食
 - ・宿泊先の斡旋はいたしません。
 - ・昼食を希望される方は、**1,000 円**にてお弁当（飲み物付き）を御用意いたします。申込書にて、希望をお伝えください。代金は、指定口座に振り込みとなります。（参加申込受付後に、別途御連絡いたします。）

- 大会参加申し込み
 - (1) 申し込み
 - 参加を希望される方は、次のいずれかの方法で大会事務局までお申し込みください。
 - ファクス：別紙参加申込書に必要事項をご記入のうえ、大会事務局までお送りください。
 - メール：大会事務局のメールアドレスへ、参加申込書のデータを送付ください。

北海道特別支援教育研究協議会大会事務局／北海道平取養護学校

大会実行委員長：石川玉乃　事務局長：西田裕一　事務局次長：野坂満智子

F A X : (01457) 2-3256

mail : birayo-z0@hokkaido-c.ed.jp

北海道平取養護学校ホームページ：www.birayo.hokkaido-c.ed.jp

(2) 申込締切

6 月 26 日（金）

- その他
 - ・上履き、名札を御持参ください。
 - ・クールビズを励行しております。来校の際は、軽装での参加をお願いします。
 - ・当日は平取町の地産品の販売等も企画しています。

和牛とトマトとすずらんの町、
平取へどうぞお越しください！

平取町公式キャラクター「ビラッキー」

